



# 20歳の決意

▶新成人に将来の夢や今後の目標を聞きました



**平** 成26年牧之原市成人式が1月12日、相良総合センター1いぐらで開かれ、新成人533人のうち、414人が参加しました。  
式典では、西原市長が「住みたい牧之原市」を目指して一緒に取り組んでいこう」と新成人を激励。新成人を代表して、富田恭輔さんが「市内で美容師を開き、皆さんに恩返しをしたい」、大石麗絵さんが「子どもと信頼関係を築ける教員になりたい」とこれまでの感謝の気持ちと、これからの抱負を力強く語りました。記念品贈呈では、山下慧さんと源間美沙さんが市長から記念のお茶と急須を受け取りました。

**申** 学校時代の恩師も式に駆け付け、新成人は恩師からの思い出話やお祝いの言葉に、懐かしそうに笑みを浮かべていました。  
また、はいばら太鼓保存会による勇壮な演奏が、晴れの門出にエールを送りました。  
司会を務めた榛原高等学校の生徒をはじめ、受付や会場案内などに市内の中・高校生26人がボランティアとして参加し、式の運営を陰ながら支えてくれました。  
新成人は、希望に満ち溢れた表情と決意を胸に、あらためて大人の仲間入りを果たしました。

